

## からしま医院



### 院長のつぶやき

事情が許せば、どこか僻地の診療所で、住み込みで働くことを考えていましたが…事情が許すだろうか？



### 医療法人 からしま医院

〒876-0112 大分県佐伯市弥生大字上小倉1215  
診療科／外科・内科・整形外科・呼吸器科・  
胃腸科・肛門科  
院長／辛島 誠一郎



## 連携医療機関の紹介

### 秋山医院



### 医療法人 穗山会 秋山医院

〒876-0844 大分県佐伯市向島2丁目19番21号  
診療科／内科・胃腸科  
院長／秋山 義明

### 【医療機関の先生方・市民のみなさまへ】

私は大分市の出身ですが、祖父が佐伯市出身であり、ウォーター佐伯人です。昭和51年、僻地の医者を志して宮崎医科大学に入学しました。僻地では何でもできる医者が求められると考え、卒後は総合外科医を養成する宮崎医大第2外科で、消化器外科のみならず、呼吸器外科、心臓血管外科の基礎を学びました。

その後、多くの医療機関で研鑽を積み、平成14年、日韓共催サッカーW杯の年に弥生の地で開業しました。地域の皆様に医療で貢献するのは当然のことですが、医者である前に地域の住民であるべきと考え、地域の皆さんと積極的に交流し、12年前には区長を、そして現在は2度目の班長として、毎月市報を配っております。

また、私は、特養「豊寿苑」の嘱託医をしており、南海医療センターさんには肺炎や骨折等の患者さんの対応で大変お世話になっております。時間外にも快く対応していただき、大変有難く感謝しております。

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



### JCHO地域医療総合医学会

## 地域医療の 未来に向けて in 横浜

令和7年11月28日(金)～11月29日(土)の2日間、横浜市で開催された第10回JCHO地域医療総合医学会に参加しポスター発表を行いました。

発表内容は、医薬品の出荷停止や出荷調整が頻発している深刻な状況下において行ってきた『医薬品供給不安に対する薬剤部の取り組み』についてです。

この取り組みにより、当院で採用されていない医薬品を代替薬で対応ができ、流通不良を最小限に抑えることができました。また、市内の病院や保険調剤薬局と医薬品の在庫状況を共有するシステムを用いて必要な個数だけ購入できるようになり、問い合わせの時間短縮と在庫管理の効率化を実現しました。この取り組みが有用であったため今回の学会で他施設の皆様にも共有させていただく機会を得ました。

本学会で印象深かったのは「地域医療の未来を支える～病院薬剤師が挑む新たなステージ」というタイトルの教育講演でした。今後回復期の患者や在宅医療の需要が増えることにより、高齢者におけるポリファーマシー対策がさらに必要になると予想されるため、薬剤師が主体の多職種連携で対策することが重要であることを学びました。

本学会は普段交流の無い他部門および他施設の取り組み等を聴講でき、今後の業務に活かせる知識を吸収できた充実した2日間の学会でした。

今回JCHO学会に初参加させていただき、発表も含めてとても緊張しました。しかしながら、院内のプレ発表および所属部署内外からのご助言をいただき、発表内容に修正を重ねて無事に発表を終えることができました。

今回は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

薬剤部 林 優志

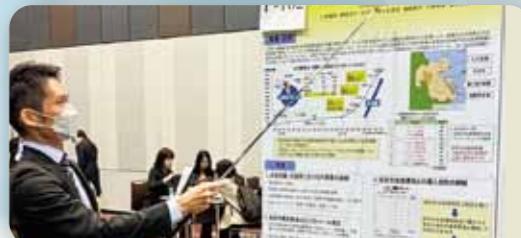
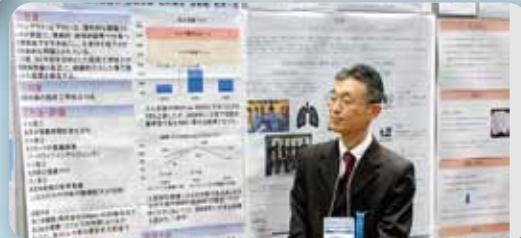
### contents



〒876-0857 大分県佐伯市常盤西町7-8

### 南海医療センター

<https://nankai.jcho.go.jp/>  
TEL 0972-22-0547(代表)  
FAX 0972-23-4083



2025.12  
vol.32

medical care information

# なんかい



## リハビリを含めた 総合治療

整形外科では、主に骨折の治療を行っていますが、入院では運動機能を回復させることを目指しリハビリまで含めた総合的な治療をしています。CTやMRIを使った検査を行うことができ、加齢に伴う骨や関節の問題に手術も含め治療を行うことができます。骨密度の測定もDEXA法にて気になる箇所に焦点を当て測定することができますし、骨粗鬆症の予防と治療のために「骨密度の改善に有効な注射」も取扱っています。

整形外科 部長 隅 宏世

## 整形外科

整形外科 部長 隅 宏世 医師



## 総合診療科

医員 垣迫 ゆか 医師



## 地域に根ざした医療を 学び、専門医としての道へ

私は現在、放射線科医局に所属しながら、南海医療センター総合診療科医員として勤務しております。医師3年目で、総合診療科としての経験はまだ浅いものの、4~5月には救急科での研修を経て、他科や地域の先生方にご指導をいただきながら、主治医としての病棟業務や当直業務にあたっています。画像診断や健診業務にも携わりながら、日々多くの学びを得ています。

南海医療センター総合診療科では、専門領域にとらわれず、地域の先生方や他職種スタッフの方々との連携を大切にしながら、切れ目のない医療の提供を目指しています。

放射線科の視点も活かしつつ、地域に貢献できる医師として成長して参ります。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

総合診療科 垣迫 ゆか

第8回

## なんかいい 南海健康まつりミニ



### 「排尿障害について」

透析センター長  
藤田 義嗣 先生



### 「ピロリ菌について」

統括診療部長・消化器内科部長  
野口 地塩 先生



### JCHO南海医療センター 「耳鼻咽喉科の紹介」

耳鼻咽喉科部長  
糸井 愛美 先生



### 「もし、ウンチが 真っ赤だったら」

外科部長  
原 貴生 先生



コロナ禍で中断していた「なんかいい南海健康まつり」を、11月12日(水)に院内の健康管理センターにて開催しました。

参加される皆様に楽しみながら健康について学んでいただけるように健康講座、測定コーナー、体験コーナーを準備しました。

健康講座では、院内の医師4名がそれぞれ15分ずつ講演を担当しました。

参加者からは「直接先生に質問できてよかったです」「日頃気になっていたことを聞けた」など、多くの満足の声が寄せられ、学びの深い講座となりました。

測定コーナーでは、健康状態を幅広くチェックできる内容をご用意し、ご自身の状態を知る貴重な機会として多くの方にご利用いただきました。

体験エリアでは、腹腔鏡操作体験、栄養相談、リハビリ科による体操と認知症チェックなど楽しみながら学べるブースを展開し、健康を「知る」だけでなく「体験する」ことで、より深く理解していただける内容となりました。

本イベントにご参加いただいたすべての皆様に、心よりお礼申し上げます。

これからも地域の皆様の健康づくりに寄り添い、より良い取り組みを続けてまいります。



認知症チェック



栄養相談



感謝

本イベントにご参加いただいたすべての皆様に、心よりお礼申し上げます。  
これからも地域の皆様の健康づくりに寄り添い、より良い取り組みを続けてまいります。



腹腔鏡・内視鏡手術を体験してみよう